一関市水道事業ビジョン進捗管理 － 中間評価（事業進捗）

将来像	大分類	中分類	主な取組み	評価
安全	安全な水の供給	①水源における水質管理	環境の変化に対応して必要に応じて水道水源保護区域を指定する。	順調
		②水源水質事故対策	関係機関と連携のうえ、適正な浄水処理により、常に安全な水道水を供給する。	順調
			適切な水質検査により迅速な水質事故対策に取り組む。	順調
		③浄水場における水質管理	水源の水質に応じた適切な方法により浄水を行う。	順調
			施設更新に併せ、広範なリスクに対応が可能な浄水施設の導入を検討する。	順調
		④送水、配水及び給水における水質管理	洗管作業を毎年度実施する。	順調
			濁水の原因となりうる水道管の更新を進める。	順調
		⑤水質検査	水源から給水栓までの各段階において、適正な項目・頻度で水質検査を実施する。	順調
		⑥鉛製給水管の解消	令和５年度までに市が管理する部分の鉛製給水管の全廃を目指す。	遅れ気味
		⑦石綿セメント管の解消	令和５年度までに供用部分の石綿セメント管の全廃を目指す。	順調
		⑧指定給水装置工事事業者のレベルアップ	指定給水装置工事事業者への指導と知識・技術向上のための講習会を開催する。	順調
		⑨水安全計画の策定	平成29年度までに水安全計画を策定する。	完了
	未普及地域における水供給	①未普及地域における水供給	長期的な財政状況を勘案しながら、未普及地域の解消に努める。	順調
			未普及地域での井戸等の整備を支援するとともに多様な手法での水供給を検討する。	順調
	小規模水道の管理	①貯水槽水道の管理	設置者に対し、機会を捉えて管理指導を行う。	順調
		②専用水道の管理	設置者に対し、一関市専用水道確認要領に基づく立入検査を行うなど指導監督を行う。	順調
強靭	災害対策	①水道施設の耐震化	災害拠点病院等に給水する主要な水道管を優先的に耐震化するほか、多系統化等を図る。	順調
			配水池等の構造物、施設及び主要な水道管以外の水道管は、更新時に耐震化を進める。	順調
		②停電への備え	非常用発電機用貯油タンクの整備を進める。	完了
			再生可能エネルギーの導入について検討する。	完了
	復旧の迅速化と応急給水への備え	①復旧の迅速化と応急給水への備え	水道工事業者と協力して迅速な災害復旧に努める。	順調
			応急給水に必要な資機材を備蓄する。	順調
			災害応急活動訓練を継続して実施する。	順調
	広域的な災害対策	①広域的な災害対策	市内の緊急時用連絡管の整備を進めるほか、市外との緊急時用連絡管の整備を検討する。	完了
			全国の水道事業者と協力して災害に対応する。	順調

将来像	大分類	中分類	主な取組み	評価
持続	水道施設の更新	①浄水場等の施設	アセットマネジメントに基づき、ダウンサイジングや施設の統廃合を含め計画的に施設の更新を進める。	順調
		②水道管	アセットマネジメントに基づき、送水管、導水管及び重要配水管は60年で更新を進めるほか、他の公共工事に併せ更新工事を行う。	順調
			水道管のダウンサイジングや重要度に応じた材質の選択により水道管のライフサイクルコストの低減に努める。	順調
	資金の確保	①水道料金の最適化	３年から５年毎を目処に水道料金の見直しを行う。	順調
		②滞納対策	督促状の送付、給水停止などの収納対策を継続するとともに、必要に応じて支払督促を行う。	順調
			口座振替払いへの誘導策を検討する。	順調
		③水道接続の促進	水道広報などで水道の安全性・安定性をＰＲし、水道への接続を促進する。	計画見直し
			給水装置設置資金融資あっせん及び利子補給補助金制度を継続実施するなどして、水道に接続しようとする方を支援する。	計画見直し
	経営の健全化	①水道事業と簡易水道事業の事業統合	平成28年度末に簡易水道事業を水道事業に統合する。	完了
		②公民連携（民間委託）の推進	浄水場の運転管理業務を委託する。	完了
			料金収納業務を委託する。	完了
		③組織・機構の見直し	水道担当部署の集約を進める。	完了
		④業務の効率化	平成28年度末までにマッピングシステムを全ての地域に導入する。	完了
			平成28年度末までに１か所で水道施設を監視できるシステムを構築する。	完了
			ＩＣＴ技術の活用など業務の効率化・省力化の取り組みを進める。	順調
		⑤お客様サービスの維持・向上	クレジットカード決済など支払い方法の拡充について検討する。	順調
			わかりやすい内容で水道広報を発行する。	順調
			ご意見・ご要望を事業運営につなげる。	順調
			協働の精神でより良い水道事業の運営につなげる。	順調
		⑥有収率の向上	計画的に老朽管を更新する。	順調
			特に有収率の低い地域において、重点的に有収率向上のための取り組みを進める。	順調
			特に漏水が疑われる地区において、漏水調査を実施する。	順調
		⑦経営戦略の策定	平成30年度までに水道事業経営戦略を策定する。	完了
	環境への配慮	①省エネルギー対策、再生可能エネルギーの導入	施設更新の際、費用対効果を検証した上で、省エネルギー機器を導入する。	順調
			再生可能エネルギーの導入について検討する。	完了
		②浄水発生土の有効利用	浄水発生土のセメント原材料への再資源化を行う。	順調
	広域化	①広域化	近隣水道事業者とのソフトな連携（事業情報の共有化、事業運営方式の共通化、共同化等）の検討を進める。	順調